

第 19 回茶の里いるまオリエンテーリング大会 熊出没に対する対応について

■開催日：令和 5 年 4 月 23 日

■開催トレイン：「上谷」「弘法山観世音」

■経緯

13:30 頃、上谷 46 番コントロール付近で熊を目撃したとのことで、会場に帰還した選手から本部へ報告があった。

■対応

・上谷にいる競技者のチェック

計算センター未帰還者の情報と救護所（149 番コントロール）の役員による目視での目撃情報を双方確認することで、「上谷」トレイン内にいる競技者の人数を把握するように努めた。（13:40 から逐一実施）

・上谷での安全管理を優先した競技者への帰還指示

大会役員を 2 人組にして合計 3 組（6 人）を、熊対策（熊鈴着用・大きな音を出す）を施した上で「上谷」に向かわせ、目撃エリア付近をパトロールさせるようにした。パトロールの大会役員に発見された競技者は安全管理を優先し、「競技を中断し、2 人組以上の人数で熊対策をしながら上谷トレインから至急下山する」ように指示を出した。上谷トレインから競技者がいないことが確認できるまで継続して実施した。（14:00 頃から実施）

・行政への報告

警察への報告を行った。（15:00 頃に実施）

■措置について

14:23 頃にゼッケン番号「 」「 」の 2 名の選手を発見し、競技を中止し、上谷を下山するよう指示した。14:57 頃に上谷トレイン内に最後に残されたゼッケン番号「 」の選手がトレイン近隣の民家で保護されているとの連絡があり、役員によるパトロールを終了した。

■調査依頼・提訴について

本件について、役員により競技を中断させられた選手から調査依頼や提訴は出ていない。また大会全体として調査依頼や提訴は出ていない。

■裁定委員からの指摘事項

今回は該当者からの調査依頼や提訴がなかったため、競技成立と判断して問題ないと考え。ただし、以下の点に留意して対応にあたるべきだったと考える。

大会役員による競技中断を指示した競技者は2名であるが、うち1名の選手は競技時間134分経過時点と、本来の競技時間より前に競技中断を指示した。(本来の競技時間は135分) 緊急対応のため競技者の意向を問わず強制的に終了する措置を取るような場合は、その選手のスタートから経過時刻や中断を指示した時刻を正確に記録し、公正な競技・判断が行われたことを後からでも立証できるように対応することが必要である。

大会参加者の方でこの対応に関するお問い合わせ等がございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください。

問い合わせ先メールアドレス：chanosato19th@gmail.com

※「上谷」テレイン全域の全コントロール図は都合により公開を中止しました。

コントロール位置の詳細情報をご希望の方は、問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。